

SR-G2000



HITACHI



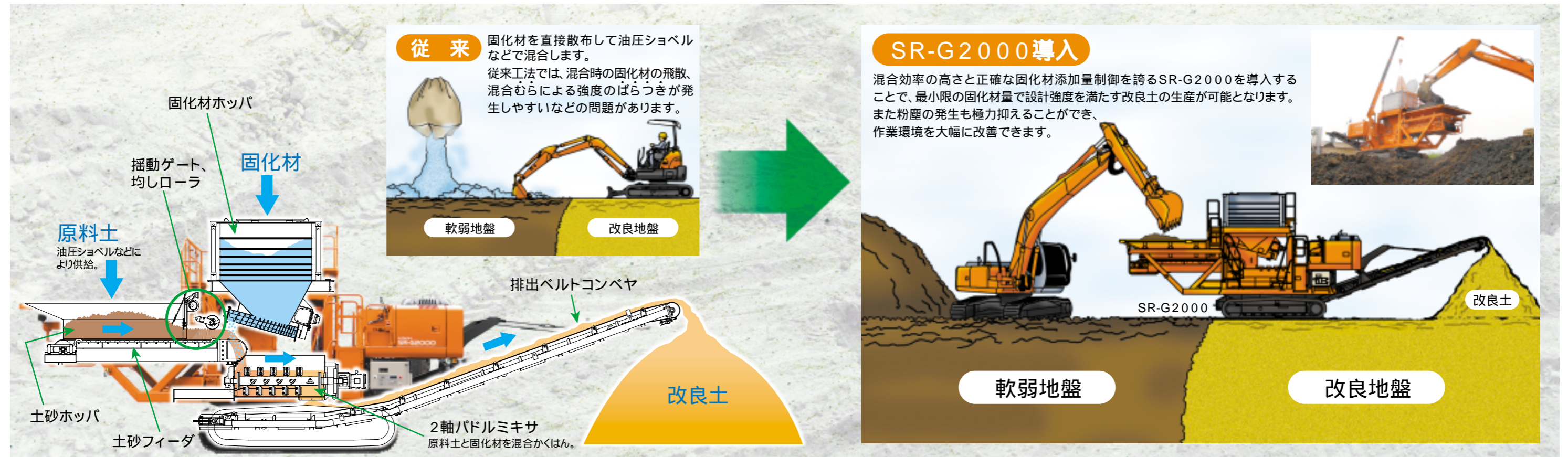
自走式土質改良機
SR-G2000



粘性土・高含水比土質に好適。作業量拡大型の自走式土質改良機。



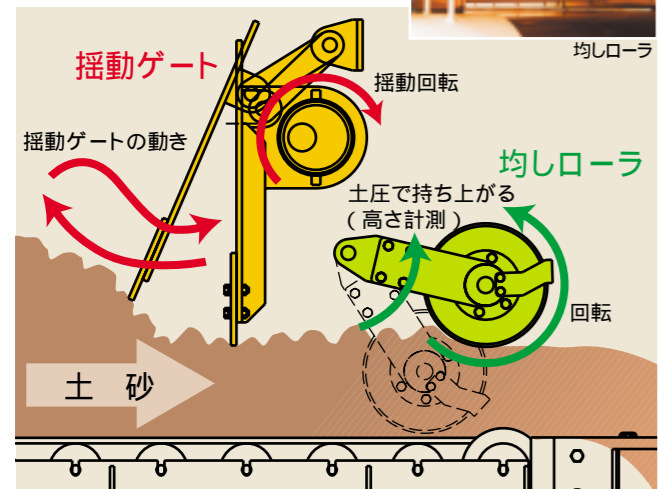
固化材コストを低減して、効率良く高品質な改良土を生産します。



作業性

粘性土も安定して供給できる新機構「揺動ゲート」を採用

揺動ゲートの作動により土砂の架橋現象を防止し、安定した土砂の供給が可能です。また、均しローラにより供給土砂量を連続して計測し、固化材添加量を正確に制御します。



高い混合効率であらゆる性状の土質も改良可能

混合機にはSR-Pシリーズでも好評の「2軸パドルミキサ」方式を採用し、あらゆる性状の土質も改良可能です。さらに、構造変更によりクラス最大の作業量を実現しました。

クラス最大の作業量
処理能力：
40~135 m³/h
土の性状や作業条件、固化材添加量などにより異なります。150mm×150mm以上の礫(れき)などが混入している場合は前処理が必要です。

大容量添加に対応できるスクリュフィーダ

固化材添加量：
5~200 kg/m³
処理土量や固化材の性状、比重などにより異なります。

幅広で低い土砂ホッパにより土砂の供給が容易



土砂ホッパ 土砂フィーダ・揺動ゲート

メンテナンス性

分割開放型混合機によりメンテナンス性が向上

混合機下部ケーシングは、油圧シリンダによりスライド開閉が可能で、点検・清掃が容易にできます。



分割開放型混合機(開放状態)

機動性・輸送性

伸縮式固化材ホッパにより一体輸送が可能

自走式クローラで、現場内を機敏に移動。トレーラへの丸積輸送を可能にする、伸縮式固化材ホッパを採用。



写真は、固化材ホッパを縮め、固化材ホッパ部の手すりを外した状態です。

操作性・安全性

ワンマンコントロールが可能

スイッチひとつで連動運転が可能。万一の異常発生時には回転灯・警報で知らせ、異常状態を操作盤に表示します。



操作盤

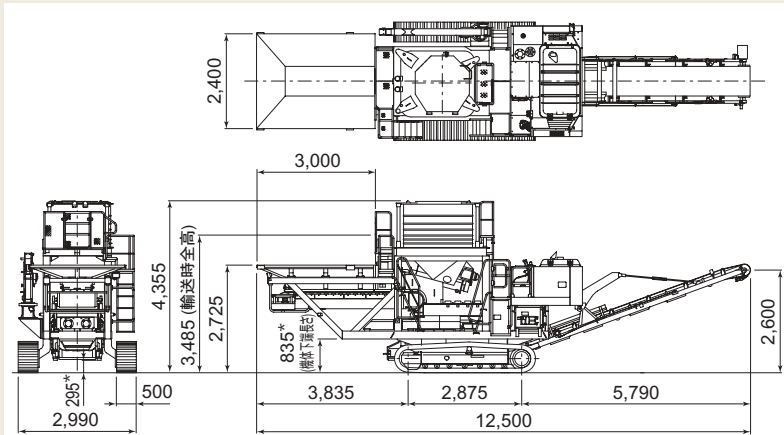
SR-G2000

仕様

寸法図

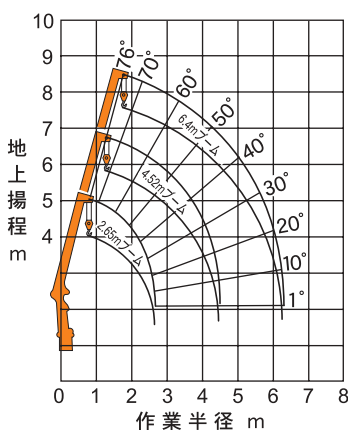
単位：mm

型 式		SR-G2000
運転質量	t	18.6
寸法	全長	mm 12,500
	全幅	mm 2,990
	全高(輸送時)	mm 4,355 (3,485)
エンジン	型式	いすゞA-6BG1T
	総行程容積(総排気量) L(cc)	6.494 (6,494)
	定格出力 kW/min ⁻¹ (PS/rpm)	99 / 1,950 (135 / 1,950)
混合機	最大処理量*1	m ³ /h 135
	混合方式	2軸パドルミキサ
	土砂ホッパ容量	m ³ 1.8
	最大許容塊	mm 150
走行部	固固化材ホッパ容量	m ³ 3.0 (伸縮方式)
	シュー形式	トリプルグローサ
油類容量	シュー幅	mm 500
	接地圧	kPa(kgf/cm ²) 58.0 (0.59)
	走行速度 高 / 低	km/h 5.3 / 2.0
	登坂能力	度(%) 24 (45)
燃料タンク	L 230	
	作動油タンク	L 193
クレーン性能*2 最縮 / 最伸	t × m	2.6 × 1.6 / 1.2 × 3.0



注 *印の寸法は、シューラグ高さを含みません。

クレーン作業範囲



注 単位は、国際単位系(SI)による表示です。()内は、従来の単位表示を参考値として併記しました。
輸送時は固固化材ホッパを縮め、土砂ホッパ部の手すりを倒し、固固化材ホッパ部の手すりを外します。
*1は、土の性状や作業条件により異なります。
*2は、最大つり上げ能力時の数値です。

オプション

清掃用エアコンプレッサ データ出力装置 グリズリバー

エアレーション装置*(固固化材ブリッジ崩壊用)

*清掃用エアコンプレッサが必要になります。

さまざまな土質改良に活躍するSR-Pシリーズ

定置式プラント並みの処理量と品質を両立

コンパクトボディに高性能を凝縮



SR-P1200
最大処理量*:120t/h

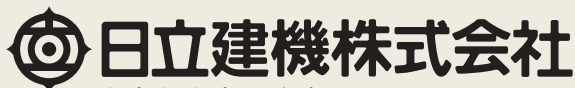
混合性能に優れた「2軸パドルミキサ」を採用。低コストで高品質な土質改良を実現しました。



SR-P600
最大処理量*:60t/h

SR-P1200で培った土質改良技術を踏襲。さらに施工性や利便性・輸送性を追求しました。

注 *処理量は、土の性状や作業条件により異なります。



日立建機株式会社

東京都文京区後楽2-5-1 〒112-8563
国内事業本部 ☎(03)3830-8040
URL: <http://www.hitachi-kenki.co.jp>



安全に関する
ご注意

正しい操作と、周囲への思いやりは、安全作業の第一歩です。
ご使用前に、必ず「取扱説明書」をよく読み、正しくお使いください。

●お問い合わせは…

カタログに記載した内容は、予告なく変更することがあります。
掲載写真は、お客様が取り付けられた部品が含まれており、販売仕様と一部異なっております。
機械を離れるときは、必ず作業装置を接地させるなど、安全に心掛けてください。
機体重量3t以上の建設機械の運転には「車両系建設機械運転技能講習修了証」の取得が必要です。
クレーン部を使用する場合は「小型移動式クレーン運転技能講習修了証」「玉掛け技能講習修了証」の取得が必要です。
本機をトレーラなどで輸送する場合は、関係官庁(警察署、国道工事事務所など)の通行許可が必要です。また、輸送時の質量と寸法については、関係法規(道路交通法、道路運送車両法、道路法)に従い、事前にご確認ください。

資格取得のご相談は 株 日立建機教習センターの各教習所へ
教習センター TEL. 048-931-0121 神奈川 TEL. 042-730-6716
北海道 TEL. 0133-64-6388 愛知 TEL. 0564-43-6578
宮城 TEL. 022-364-6143 京都 TEL. 075-957-4944
埼玉 TEL. 048-931-0121 岡山 TEL. 086-464-5411
茨城 TEL. 029-828-2370 福岡 TEL. 092-963-3634



環境にやさしい植物性大豆油インキを使用しています。

KO-095P

03.05 (SA / KA,GT3)